

夏休み最後の一日、令和7年8月25日に丹波山村の小学生を対象とした釣りイベントを開催しました。当日は夏らしい陽気にも恵まれ、子どもたちが楽しみながら自然との触れ合いを深める貴重な機会となりました。

本イベントは、子どもたちの「釣りをやってみたい」という声に応えるとともに、地域資源や人々の活動に触れ、食育やものづくりの大切さを学ぶことを目的に実施されました。開催を主催した協力隊員の村上陽基さんを中心に地域の大人と子どもたちが夏の思い出作りを楽しみました。

協力隊1年目
村上 陽基

竹の採取と釣り竿の作成

まず、伐採の許可を得た竹藪へ移動し、自分たちで使う釣り竿にちょうど良い竹を切り出すことから始めました。子どもたちはのこぎりやヤスリを使い、節を整え、ガスバーナーの火で竹を炙って強度を高める作業に夢中になりました。試行錯誤しながら、世界に一つだけのオリジナル竹竿を完成させました。

自ら作った竹竿で魚を釣る

完成したばかりの自作竹竿を手に、村営釣り場の池へ移動。真新しい竿でニジマス釣りに挑戦しました。子どもたちは、普段とは違う貴重な体験に目を輝かせ、次々と魚を釣り上げていました。



ハルちゃんの釣教室

身近な自然素材から楽しいものが作れる！

自分たちの住む村には、ちょっとした工夫を子どもたちにして欲しいと思いました。の体験を通し、命の尊さや食のありがたみも知ることが出来たのではないのでしょうか。

で、とても便利な道具が作れる。そんな体験
自ら作った竿で魚を釣って食べるという一連

TABAMUSIC NIGHT 2025



協力隊3年目
下村佳恵

2025年8月19日（火）の夕方、青梅街道沿いの「TABA CAFE」にて、音楽ライブイベント「TABA MUSIC NIGHT 2025」が開催されました。地域おこし協力隊員とプロのミュージシャンによるスペシャルセッションが実現しました。音楽を通じて、丹波山村の住民と村外からの来場者が交流し、新たなつながりや関係人口の拡大を目指す取り組みです。会場は満席となり、建物の外から音楽を聴く人もいるほどの盛況ぶりでした。

ライブはJAZZやポップスを中心とした、メロウでジャジーなサウンドで丹波山の夜を彩りました。メインの演奏者だけでなく、事前に村の方々に参加を呼び掛けたところ、2名の方が出演してくださることになりました。本番までに練習を重ね、当日の舞台では大勢の観客が見守る中、臆することなく素晴らしい歌声を披露してくれました。



村上陽基



平日の夜にもかかわらず、村内外から多くの人々が訪れ、丹波山村に音楽の力で新しい風が吹いていることを感じさせる一夜となりました。協力隊3年目の下村さんの歌声は、会場を静かに酔わせ、心地よい余韻を残しました。



コントラバス
鉄井孝司さん

ピアノ
船山美也子さん

音楽を中心に村内外の人々が交流できる場があることのありがたさを痛感するとともに、この活動を今後も続けて欲しいと感じました。

ボーカル/MCを務めた下村さん
今回は、村外の方々に多く来ていただきました。ただ、ステージの配置が入口に近すぎたこともあり、観客の出入りが不便だったのは反省しています。次回はもっと自由に気軽に観に来れるようなステージにしたいと思います。

ギター担当 村上陽基さん

プロのミュージシャンと演奏するという貴重な機会を得ました。正直、かなり緊張していましたが、プロの方々から励まされベストを尽くすことが出来たと思います。